

生田緑地マネジメント会議の導入と協働の取組（平成29年3月）

市内随一の緑の宝庫であり、「岡本太郎美術館」、「宙と緑の科学館」、「日本民家園」など多様な文化施設が立地する生田緑地では、以前から多くの市民活動団体が多様な活動を行っており、これらの団体の協力・連携により生田緑地の管理・運営は支えられてきました。

こうした中、生田緑地に関わる多様な主体（行政や市民活動団体、町内会、商店街、近隣の大学、指定管理者など）が共有できる生田緑地の目指すべき将来像を示す構想として、平成23年3月に「生田緑地ビジョン」が策定されました。

「生田緑地ビジョン」では、多様な主体が相互に連携・調整しながら管理・運営に参加する「生田緑地マネジメント会議（協働のプラットフォーム）」を構築することが示されました。

その後、生田緑地マネジメント会議準備会による2年間のルール作りを経て、平成25年度から「生田緑地マネジメント会議」が導入され、協働により緑地の管理・運営をしています。



【生田緑地マネジメント会議全体会】



【多様な主体の連携により創出され、維持管理されている農の風景】

<議会での審議経過と市の取り組み>

【平成22年総務委員会（10月）、平成22年第5回定例会、平成23年第3回定例会（6月）、平成23年決算審査特別委員会（9月）ほか】

質問

マネジメント会議のかなめとなるコーディネーターには、学識経験者ではなく、実際に現場で行政や多様な市民の方々の間に入り、マネジメントができる民間の方を選ぶべきと考えますが、見解を伺います。

答 弁

マネジメント会議の運営に当たっては、中立的な立場で意見集約や調整を行うコーディネーターを配置したいと考えています。

まずは準備会を設置し、2年程度の準備期間を設け、生田緑地に関わる方々と協議しながら、会議運営のルールづくりなどに向けた検討を行うとともに、コーディネーターについても、準備会での意見を参考にしながら、なるべく早い時期に選定できるように調整を進めていきたいと考えています。

取り組みとしては・・・

中立的な立場で意見集約や調整を行うコーディネーターとして、「**愛・地球博（愛知万博）**」で**市民参加プロジェクトのプロデューサーをされた小川巧記氏に就任していただきました**。「愛・地球博」では、万博史上はじめて本格的な市民参加が導入され、235の市民プロジェクトに多くの来場者が訪れました。また、愛・地球博の長久手会場跡地に整備された愛・地球博記念公園では、県民と行政のパートナーシップにより公園の管理・運営が行われており、生田緑地マネジメント会議の先行事例となっています。

小川コーディネーターには、平成23年10月20日に開催された第1回準備会から参加していただきました。



【小川巧記コーディネーター】



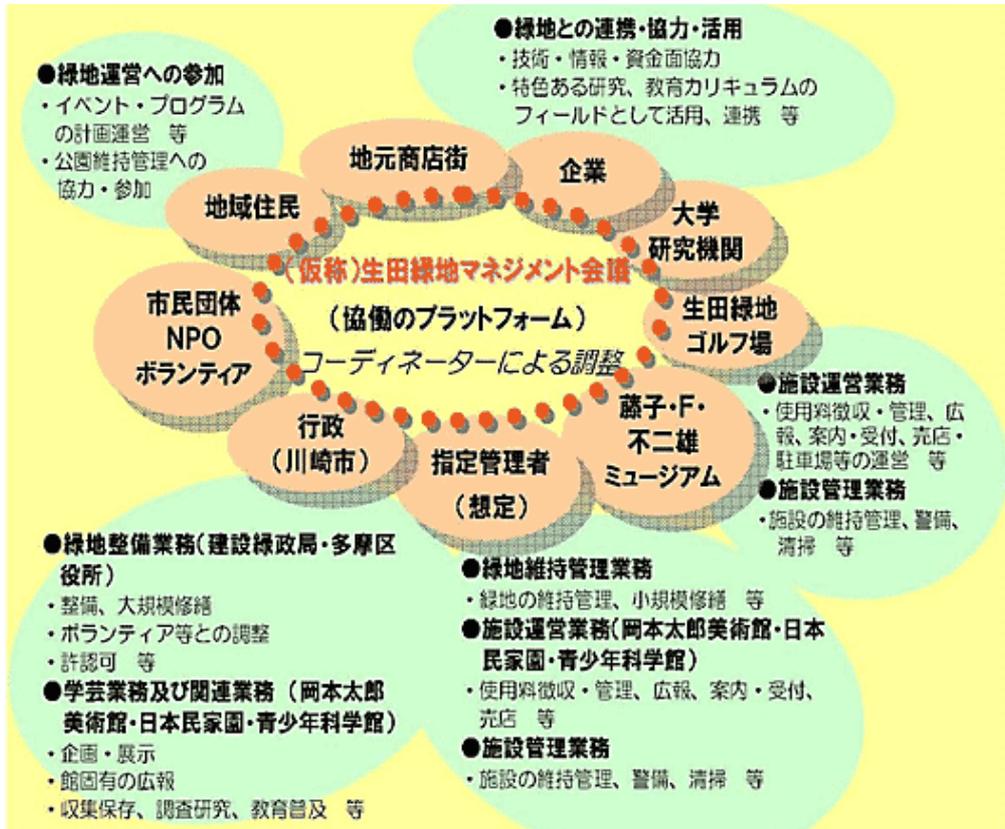
【生田緑地マネジメント会議準備会】

【平成22年総務委員会（10月）】

質 問

協働のプラットフォームの概念図をみると、川崎市が並立の形で並んでいます。最終的な責任を負うのは行政なので、行政の担うべき責任をしっかりと認識しながら仕組みづくりを進めるべきと考えますが見解を伺います。

生田緑地マネジメント会議（協働のプラットフォーム）概念図



生田緑地ビジョンより（平成 23 年 3 月）

答 弁

さまざまな団体が、生田緑地をフィールドとして活動する中で、意見が衝突した場合、その全体調整を当事者同士で話し合い、解決していくことが必要なことから、協働のプラットフォームを導入しました。

管理・運営・整備の全体的な責任は川崎市が負うことを前提にしながら、生田緑地という広大な緑の保全等について市民の力も活用するという一方で、すべてをお任せするという認識は持っていません。さまざまな方の市民力を活用し、緑地の魅力向上や地域の活性化につなげていきたいと考えています。

取り組みとしては・・・

行政の担うべき役割を明確にするため、生田緑地マネジメント会議の会則の中で、「生田緑地の管理・運営及び改修・整備の最終的な判断及び責任は市が担うものとする。」と定めるとともに、「生田緑地マネジメント会議」として行政に提言するときは、複数の意見を併記して提言することができる規定を設けており、これにより会議に参加する行政の職員も、行政としての立場からの意見を併記することができるようになっています。

こうした市民の意見と行政の職員の意見が併記された提言を受けて、行政が最終的に責任ある判断を行うことができる仕組みになっています。

【平成 24 年第 2 回定例会（6 月）】

質問

準備会には、これまで生田緑地を守り育てた多くの団体が参加するとともに、近隣大学や地元町会、商店街なども参加しているとのことですが、今後準備会が進み、マネジメント会議が立ち上がった際、生田緑地ビジョン実現に向け、マネジメント会議がどのような役割を果たしていけるのか伺います。

答弁

生田緑地の価値と魅力を高め、だれもが気持ちよく利用できる緑地とするために、生田緑地ビジョンの基本理念である保全と利用の調整を図りながら、生田緑地に関わる多様な主体が集まり、相互に協議、調整、合意形成を図りながら実践につなげていくことが必要であると考えています。マネジメント会議はそのための協働のプラットフォームとしての役割を担っていくことを目指しています。

取り組みとしては・・・

生田緑地の魅力を高めるため、利用者の要望に配慮しながら、動植物を保護する植生管理をしています。

例えば、枳形山展望台からの眺望を良くしてほしいという意見と、渡り鳥など生き物の生息に配慮してほしいという意見がある場合には生田緑地マネジメント会議で意見調整を行い、必要な分だけ枝を剪定するなどの細やかな管理をしています。

また、緑地管理で発生した剪定枝を日本民家園でボランティア団体が古民家維持のための火焚きに活用する取組や、外来植物を使った草木染ワークショップ、公園清掃で集めた落ち葉を活用した落ち葉プールのイベントなど、多様な主体が連携することにより、公園の維持管理活動と利用促進が図られるとともに、資源のエコ循環を実現しています。

さらに、生田緑地マネジメント会議では、

- ・郵便局と調整し生田緑地のオリジナル切手を作る「切手プロジェクト会議」
- ・様々な団体と協力し、駅からばら苑や生田緑地までの行き方をわかりやすくするための「生田緑地への案内を考えるプロジェクト会議」
- ・専修大学インターンシップと連携して緑地内のガイドを考える「ぐるっとガイドツアープロジェクト会議」

などが設立され、様々な団体が生田緑地をフィールドとして連携しています。



【枝の剪定作業・枳形山】



【生田緑地オリジナル切手と風景印の贈呈式】



【生田緑地ぐるっとガイドツアー】



【ばら苑開催時期の道案内】

【平成 24 年総務委員会（12 月）】

質問

市民団体と指定管理者と生田緑地の各施設との連絡調整をしていくにあたり、指定管理者に全部任せるのではなく、市の担当部門をつくり、そこが責任を持つ体制をつくるべきと考えますが、見解を伺います。

答弁

市の担当組織につきましては、生田緑地の現地において対応できるような専門的な組織が必要と考えますので、その方向で検討します。

取り組みとしては・・・

平成 25 年 4 月 1 日付で、生田緑地内に「生田緑地整備事務所」を設置しました。

生田緑地の魅力向上や自然環境の保全等を推進するとともに、市民や地域と信頼関係を築きながら、生田緑地マネジメント会議や植生管理計画などの協働の取り組みを進めるための役割を担っています。



【生田緑地整備事務所】

【平成 28 年予算審査特別委員会（3 月）】

質問

地域には意識とアイデアのある方たちが多数存在します。さらなる多様な主体の参加も求められるところですが、見解を伺います。

答弁

生田緑地マネジメント会議については、地域の方々や関係機関と連携し、生田緑地の魅力向上に向けた取組を進めているところです。一方で、地域のより幅広い世代との連携の強化が課題となっています。引き続き多様な意見が反映できるよう取り組みを進めます。

取り組みとしては・・・

生田緑地内で活動する団体をはじめとする周辺の様々な主体が参加する「生田緑地サマーミュージアム」や指定管理者による独自事業「森のにじ」によるピクニックデーの開催等、地元商店街や地域団体との連携による様々なイベントを開催しています。

イベントを通じて、地域のより幅広い世代との交流が深まるとともに、リピーターによる周辺地域への波及効果が生まれています。



【生田緑地サマーミュージアム】

8月に実施される生田緑地最大のイベントで、毎年1万人前後の来園者が訪れる。生田緑地をフィールドミュージアム（野外博物館）に見立て、地域商店街・ボランティア・行政・企業が連携し、コンサートやワークショップ、親子あそび・エコ体験など、さまざまな企画を実施している。

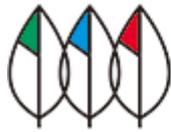


【森のにじ ピクニックデー】

9月中旬～下旬頃に実施。大人から子供まで楽しめる様々なワークショップや絵本の読み聞かせ会、コンサートなどが開催される。また、夕方からは、ピクニックデーに合わせてトワイライトウエディングを行っており、ピクニックデーに遊びに来た人たちも自由に参加できる。

こうした生田緑地における協働のパークマネジメントの取組が高く評価され、平成 28 年 11 月 11 日、「生田緑地マネジメント会議」、「生田緑地運営共同事業体（指定管理者）」、「川崎市生田緑地整備事務所」の3団体が、都市緑化機構主催の第36回緑の都市賞にて、緑の市民協働部門で最高評価となる国土交通大臣賞を受賞しました。

受賞理由は、豊かな自然資源の保全と、文化レクリエーションの利用促進の両立が求められている生田緑地において、長い歴史を背景に、緑地に関わる多様な主体の連携・協働による、緑地の運営管理が進められており、保全と利用の好循環が実現している、というものです。



未来を育てるミュージアム

生田緑地

ikuta ryokuchi park <http://www.ikutaryokuti.jp/index.php>

交通アクセス

【電車をご利用の方】

- ・小田急線「向ヶ丘遊園駅」下車 南口から徒歩約 13 分
- ・小田急線/JR 南武線「登戸駅」下車 生田緑地口から徒歩約 25 分

【バスをご利用の方】

- ・小田急線「向ヶ丘遊園駅」南口より、市バス【溝 19】おし沼経由「溝口駅南口」行き、「生田緑地入口」下車 徒歩約 3 分で東口へ。

- ・小田急線「向ヶ丘遊園駅」北口より、小田急バス「専修大学前」行き、終点下車 徒歩約 5 分で西口へ。
- ・小田急線/JR 南武線「登戸駅」生田緑地口バスターミナルより、市バス（藤子・F・不二雄ミュージアム経由）「生田緑地」行き、終点下車で東口へ。（午前 10 時台～午後 4 時台に 1 本の運行、藤子・F・不二雄ミュージアム休館日は運休）
- ・JR 南武線/東急田園都市線「武蔵溝ノ口駅」南口より、市バス【溝 19】生田緑地入口経由「向ヶ丘遊園南口」行き、「生田緑地入口」下車徒歩約 3 分で東口へ。
- ・東急田園都市線「梶が谷駅」より、東急バス「向ヶ丘遊園駅南口」行き、「飯室」下車 徒歩約 10 分で東口へ。

【車及びバイクをご利用の方】

- 川崎方面から府中街道「稻生橋」交差点を左折、直進約 2 分で東口駐車場へ
- ・東名高速「川崎 IC」より、出口信号を左折、「犬蔵」交差点を右折、道なりに約 10 分で東口駐車場へ
- ・東名高速「川崎 IC」より、出口信号を左折、「清水台」交差点を右折し直進約 10 分、浄水場通り「専修大学入口」交差点を右折、ゴルフ場沿いに進むと西口駐車場へ

